

下越地区の R4 年度の古道調査案内

越後支部古道調査 越後の「米沢街道十三峠を歩く」

昨年の諏訪峠からの第二弾として本部推薦の越後側三峠 「鷹ノ巣峠」「榎峠」「大里峠」を1日で歩きます。ご参加をお待ちしています。

○鷹ノ巣峠・榎峠・大里峠を歩く

1. とき 2022年6月12日(日) 8:30
2. 集合 鷹ノ巣峠入口(関川村大字下川口) 8:30
3. 日程
鷹ノ巣峠入口 9:30 出～国道113号線下山口 10:00～榎峠入口 10:30～
沼下山口 11:30～大里峠入口で昼食～山形県小国町玉川下山 16:00・・・・・・
事前配置の車で鷹ノ巣峠入口に戻る。解散 17:30
4. 問い合わせ・申し込み先
佐久間雅義(携帯電話 090-1263-7281) sakuma2422@yahoo.co.jp
渡邊忠次(携帯電話 090-4737-4614) tw.71142@gmail.com
に参加者の氏名、連絡先(郵便番号、住所、携帯等の電話番号)を添えて
申し込み(締切5月31日迄)下さい。
5. 今後の予定
十三峠の残りについては今後関係者で協議して実施する予定です。

※峠の概要

鷹ノ巣峠は十三峠越後側の最初の峠で、標高 155m 延長約 1.9 キロ戊辰戦争で激戦地となった榎峠は標高 187m 延長約 1.9 キロ、大蛇伝説で有名な大里峠は十三峠で2番目高い標高 478m 延長約 4.6 キロで一番の長丁場です。

峠の入口、出口とも昔旅人の宿場で、関川村下関の渡邊邸は米沢藩への融資など豪商、豪農として栄え、今に保存される邸宅は国の重要文化財指定です。